

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター  
事例研究・研修プロジェクト

## 研 修 会 の お 知 ら せ

Doshisha Education & Research Center of Social Welfare

ケース・カンファレンス連続講座 第1弾

# 岩間伸之先生(大阪市立大学)による 「援助を深める事例研究の意義と方法」

## 第1回 理論編

**2008年3月8日(土)**

- 場 所** ◆ 同志社大学新町キャンパス臨光館201教室  
(アクセスはホームページをご参照下さい。 [http://www.doshisha.ac.jp/access/ima\\_access.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html))
- 対 象** ◆ 社会福祉の実践に携わる方
- 開 場** ◆ 12:30～(受付開始)
- 時 間** ◆ 13:30開始 17:30終了予定 ※途中休憩あり
- 参加費用** ◆ 一人3000円(資料代込み) ※当日受付にてお支払い下さい
- 定 員** ◆ 200名

本プロジェクトの第一弾として、保健・医療・福祉の現場の方たちとの事例研究のご経験の豊富な岩間伸之先生をお招きし、ケース・カンファレンスの意義と方法に関する講座を開催します。日々の実践に実際に役立てていただくことを目指し、理論編と実践編の二本立ての講座としました。

ソーシャルワーカーを始め、ケアマネジャー、ホームヘルパー、介護・保育・教育等の現場で働く方々、広く社会福祉の現場で実践に携わる方々の多くのご参加をお待ちしております。

2008年5月には「第2回 実践編」が予定されています。理論編受講者の中から、実践編に参加することができますが、定員が20名程度のため、人数が多い場合は抽選となります。あらかじめご了承ください。

講師  
紹介

岩間伸之(いわま のぶゆき)先生 Nobuyuki Iwama

大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授

[専門分野/主要担当科目] 社会福祉学 ソーシャルワーク論

[研究テーマ] ソーシャルワークの固有性に関心をもち、近年は、現代ソーシャルワーク理論の体系としての「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」の明確化に取り組んでいる。また、理論と実践を結ぶための方法としての事例研究やソーシャルワークの視点からの権利擁護のあり方についても追究している。

[略歴] 同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了 博士(社会福祉学)

特定非営利活動法人 西成後見の会 代表理事

社会福祉士

[主な著書等] 『援助を深める事例研究の方法—対人援助のためのケースカンファレンス—(第2版)』ミネルヴァ書房・2005年(単著)、『ソーシャルワークにおける媒介実践論研究』中央法規出版・2000年(単著)、『ジェネラリスト・ソーシャルワーク』(ジョンソン/ヤンカ著)ミネルヴァ書房・2004年(共訳)他多数。

社会福祉教育・  
研究支援センター・  
事例研究・研修  
プロジェクトとは

この度、同志社大学大学院社会福祉学専攻の“国際的「理論・実践循環型」教育システム”の構築が、文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」(大学院GP)に採択されました。この文科省助成と本学社会福祉学科の卒業生からの寄付をもとに「同志社大学社会福祉教育・研究支援センター(Do-ERC-SW)」が2007年11月に設立されました。当センターでは主に6つのプロジェクトを柱に、さまざまな事業が行われます。

中でも、本プロジェクトは、主に二つの目的で当センター内に設けられました。一つは、本学が院生等に対し、本事業の開催を通じて、将来の職業的スキルとモチベーションの涵養に努める場と機会を提供すること、二つ目は、社会福祉専門職教育及び研究を担う本学が社会貢献を果たす一つのあり方として、社会福祉の実践現場で専門職指導を担う現任のソーシャルワーカーらに対し、現任訓練・教育に関する研鑽の機会と場を提供することです。メンバーは研究者を始め、保健・医療・福祉のさまざまな現場の実践者から構成され、各種研修の企画や運営・評価にあたります。本プロジェクトでは、実践・教育・研究の統合の端緒を「ケース・カンファレンス」と「スーパービジョン」に見出し、今後はこれらの方法に焦点をあてた研修を提供していきます。現場の指導者の養成や現任ソーシャルワーカーの卒後教育に恒常的に役割を果たしつつ、高度専門職人の養成を目指します。

●今後の研修会のお知らせ

<ケース・カンファレンス連続講座>

☆第1弾

岩間伸之先生(大阪市立大学)による  
「援助を深める事例研究の意義と方法」

第2回 実践編(2008年5月予定)定員20名

※理論編受講者の中から、ケース・カンファレンス(実践編)に参加することができます。  
(人数多い場合は抽選となります。あらかじめご了承ください)

☆第2弾

植田寿之先生(梅花女子大学)による  
「対人援助の原点と本質を学ぶ」

第1回 理論編(2008年7月予定)定員200名

第2回 実践編(2008年9月予定)

●申し込みについて(締切り:2008年3月5日水曜日)

以下までに事前に参加希望の旨ご連絡ください。なお多数申し込みが予測されますので、当日キャンセルはなるべくお控え下さい。  
申し込み方法:①お名前、②御所属、③現在の職種、④連絡先(住所・メールアドレス・電話番号)を必ず明記の上、以下までご連絡ください。Eメールかファックスのいずれかの方法をご使用下さい。

なお、ご記入いただきました個人情報、本研修会に関するご連絡だけの目的で使わせていただきます。

●問合せ及び申し込み先

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター  
岩間先生研修担当 宛

Eメールアドレス [derc-sw@mail.doshisha.ac.jp](mailto:derc-sw@mail.doshisha.ac.jp)  
ファックス番号 075-251-3028